

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当） 家電量販店（営業担当） 通信会社（管理担当） 通信会社（企画） 観光名所（職員）	単価の動き 販売量の動き 販売量の動き お客様の様子 来客数の動き	・単価の高いコンサートチケットがよく売れている。 ・テレビは年明け以降も予想以上に売れている。まとめ買いが多くなってきているせいもある。また、冷蔵庫、洗濯機も月後半から持ち直してきている。しかし、パソコンは、OSが変わり、2台目用の製品を出しても、思ったほどの売上に繋がっていない。 ・データ系端末の新規需要が順調に推移している。 ・以前に比べ加入に積極的になってきている。電話問合せ件数も増加している。 ・1月の入場者数は前年度比で15%上昇している。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・当地の再開発事業もだんだんと片付きつつあるが、来客数が少ないため、各店共、売上に苦慮している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・初売りは福袋の出が特に悪かった。福袋を買うにしても、客がかなり品定めをして買っており、販売になかなか結びつかない。また、初売り終了後の1月10日以降の人の出が非常に悪い。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数は前年並みを確保し、売上高は若干下回った。ミセスカジュアル及びインテリア関連が苦戦したが、食品類及びメンズ雑貨は前年並みの販売を確保した。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・初売りの客数が前年を下回り、福袋・セール商品も動きが鈍い。大幅にお得感を出した企画福袋のみ動きがよく、特にツアー旅行への応募が多く、物より自分の楽しみへの投資が多くなっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・客単価が減少しており節約志向の基調は変わっていない。しかし、クリスマスや年末の売上は好調であった。
		スーパー（企画担当）	それ以外	・食料品は単価と買上点数の減少が見られるが、今月は寒波の影響もあり、住関連を中心に商品は動いている。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・前月同様、客数・客単価ともに前年割れしている傾向は変わらず、依然として回復基調にはない。
		衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・売上金額・量とも横ばい又は減少している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・1月はバーゲン月であり、最もよく売れるはずだが、第2週は、かるうじて前年並みを確保した。平日は相変わらずの厳しい状態が続いている。全体的には以前と比べて、やや減りが少ない状態であるが、それでも10%は減少している。
		衣料品専門店（総務担当）	単価の動き	・先月に引き続き、客数は前年を維持しているが、客単価の下落は続いている。例年同様、クリアランスセールを実施しているが、客はセール価格であってもしっかりと吟味しており、買上げ点数も減少し客単価の下落につながっている。
		衣料品専門店（副店長）	それ以外	・3か月前と比べあまり状況は変わっていない。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・買上客数は、3か月前から引き続き上向きで推移している。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客の様子は前年と変わらない。減税と補助金の影響で秋まで好調だったが、年末以降、落ち着いている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・自動車の販売量は例年1月から3月にかけて増えるが、今年の1月は、2～3か月前とあまり変わらない台数で推移している。	
	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・受注量自体は減少しているが、小型普通車の受注は良い。	
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・当地はスペシャルドラマがスタートした効果で日帰り客は増えているが、宿泊客は伸びていない。旅行業者の旅行商品がまだ本格的に売れていない。	

		都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・来客数は若干増えたが、客単価が下がっており、全体としては変わっていない。
		旅行代理店（支店長）	単価の動き	・年末年始及び、1月の連休の個人旅行は、マイカー利用での近場の旅行が多く、旅行単価は低かった。また同様に、海外旅行も近場のアジア方面への旅行が多く、単価の低い商品が中心であった。
		通信会社（支店長）	来客数の動き	・経年別の来客数の推移からみても、大幅な来客数の変化はない。新端末販売も、客の収入と端末価格との関わりに大きく左右される。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・季節的な要因もあるが、来客数、予約の様子をみても、あまり変化がない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数は変わらないが、徐々に悪くなっているようにも感じる。
やや悪くなっている		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・例年の1月と比べ、飲食店への客の入りが悪く、外食を控えている様子が見える。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・昨年度に比べ販売点数が減っている。客は必要なものしか買わない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー購入補助金制度が6か月間延長することもあり、新車受注台数が予想以上に伸びない。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・ユーザーの動向が読めない。3か月前は前年を上回る業績であったが、12月は極端に受注が落ち、前年を大きく割りこんだ。今月は地域によって大きなばらつきがあり不安定である。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・先月に引き続き客数と客単価の減少が続いている。年末年始商戦の期間は前年並みで推移したが、その前後の買い控えは以前にも増して厳しいものとなった。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客単価、売上が悪くなっている。
		タクシー運転手	単価の動き	・年明けに利用客が極端に減っている。客の収入が減少しており、財布のひもが固い。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・今月は正月レースもあり、売上は前月比、3か月前比共に約20%増が見込まれるが、前年同期比では5%減となる見込みで、客の財布のひもが緩んできたとは思えない。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の来店周期が長くなり、また、格安店に流れているようで、かなり節約志向が強まっている。
	設計事務所（職員）	販売量の動き	・賀詞交換会等、年末年始のイベント、会議での、様々な業種の人の話では、異口同音に、売上が減少している、リストラ中である、来年度が正念場である、などという内容であった。地方都市においては、景気の下げ止まり感はなく、悪くなっていることを再認識した。街の通りや飲み屋街でも、人通りの少なさが目立つ。	
悪くなっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・来客数も減り、客と話をしても明るい話題がない。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・売上が悪い。年末年始が特に悪かった。在庫も多く抱えて困っている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・他店との競争により、販売する商品の単価が急激に低下してきており、それに伴い客の買上単価も急激に落ちている。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・客数、客単価、売上、全てにおいて、前年と比べ、減少している。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	来客数の動き	・来店客数が激減している。そのため売上にも影響が出ている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・例年明けは、企業の新年挨拶回りでタクシーは動いていたが、今年は経費削減から大幅に減っている。日中は、病院関係、仕事関係の人も乗車回数が減っており、単価も低い。特に夜は、週初めの街中は閑散としており、乗車しても近距離ばかりでなかなか売上が伸びない。	
企業動向関連	良くなっている	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末を迎え、各社が追い込みにかかっており、3～4月引渡しの受注が、一時的ではあるが増加している。他社と比べて業況は良い。
	やや良くなっている			
	変わらない	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・官民とも工事自体が少なすぎて、受注が非常に難しくなっている。

	輸送業（統括）	取引先の様子	・取引先の物量が増加しない。また、企業を訪問してもこの景気の状態がいつまで続くのか、という不安の声をよく聞く。	
	輸送業（社員）	取引先の様子	・11月以降の取引先の出荷数量が前年並みで推移しており、特に製紙会社の稼働状況は、最近の円高傾向もあり、低下している。また、国際貨物でも低下している。	
	通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・上向きの期待感はあるが、現状の受注レベルは厳しい。特に民需では明確な投資効果が見えないものには慎重な姿勢が続いている。	
	通信業（営業担当）	それ以外	・個人消費拡大のために、大型スーパー、家電量販店などが集客・売上拡大に向け、限界近くに価格を押し上げた各種施策を打ち出しているが、目玉商品のみを差別購入する客が多く、マネージャーから泣き言を聞く機会が増えた。	
	公認会計士	取引先の様子	・今年の顧問先の決算内容、試算表等をみると、前年比で若干のマイナスとなっている企業がほとんどである。この状況は3か月前とそれほど変わっていない。	
やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	競争相手の様子	・当地のタオル加工場の受注量が減少しているが、特に地元銀行からの融資額が例年に比べて小さい。これは、タオル業者の受注減により、生産備蓄資金が減少した結果、との見方がある。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・メンテナンスの受注は安定してあるが、企業はなかなか新規設備投資に踏み込んでくれない。見積等は実施しているが、値下げ交渉ばかりで決まらない。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先との会話からやや悪くなっていると感じる。	
悪くなっている	広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注量はあるが、利益率が非常に悪い。社内の仕組みを改善し、吸収しようとしているが、将来的にどこまでできるかは不透明である。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節要因を抜きにしても現在の受注状況は悪い。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・価格競争が厳しくなっている。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・依然として民間工事の見積依頼、成約率共に低下しており、手持ち工事は減少し続けている。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・行政の雇用対策事業を再委託で受注した。
	変わらない	職業安定所（職員）	それ以外	・12月の月間有効求人倍率は0.59倍で、3か月前より0.11ポイント上回った。
	やや悪くなっている	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業から大学へ送られてくる求人数の動きに変化はない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者が、特に中堅世代で増加している。
悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の新規求人数は3か月前より8.0%減少し、有効求人数も3か月前より0.2%減少した。有効求人数は前年同月比で30か月連続で減少している。景気底打ち感、地方では感じる事ができず、個人消費は減退したままである。雇用調整助成金や緊急保証制度でかろうじて大型倒産はないが、小規模事業所の年度内の廃業が増加する気配がある。	
	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・全般的に厳しい状況は続いているが、特に建設・土木・情報業界は厳しい状況にあり、年度末にかけての資金繰りが悪化している。理由としては、公共事業の削減、民間需要の低迷が考えられる。	